

新潟県

# 公民館だより

# 10

October 2020

No.809



チンコロ作り体験教室（十日町市）  
十日町市伝統縁起物『チンコロ』作りに挑戦。うまくできるかな？

## CONTENTS

### 特集

## 4～5 ともそだち ～創造の輪を広げながら～

青少年育成胎内市民会議 会長 細野 隆

- 2 トピックス **学びの循環と実践の継続**
- 3 視点 **貴重な経験**  
佐渡市立相川中学校 校長 佐藤 元
- ひろば **夕焼けのウォーキングロードで思ったこと**  
見附市北谷公民館 館長 八木茂樹
- 掲示板 **にいがた早寝早起き朝ごはん**  
～県民フォーラム2020～
- 6 実践記録シリーズ **きっかけの一步事業・初心者**  
スマホ相談室 三条市中央公民館

- 7 サークル交流  
**楽楽天** 絵手紙教室（胎内市）  
**楽しく踊って健康そして上品に！** 社交ダンスサークル（田上町）
- 素颜拝見  
**牛木円香さん**（南魚沼市）／**吉楽雄大さん**（津南町）
- 8 お元気ですか  
**夢が叶う日まで** 榎本良子さん（新発田市）  
**恵贈資料紹介** 信江 第58号

TOPICS

学びの循環と実践の継続

公民館の活動団体による新潟市下水道マスケットづくり  
「石山手作りサロンの水玉ぼうし制作」

石山手作りサロン

石山手作りサロンは、新潟市主催のボランティア養成講座を修了した人や市内で生涯学習活動や市民団体活動などを行っている人が集まったグループです。

新潟市石山地区公民館で平成13年から活動を行っています。活動日は、毎月第4月曜日で、4時間ぐらい活動をしています。毎回15人〜20人が参加して布ぞうり作りを中心に制作

していますが、小物づくり等にも取り組んでいます。時にはおしゃべりしたりして楽しい時間を過ごしています。

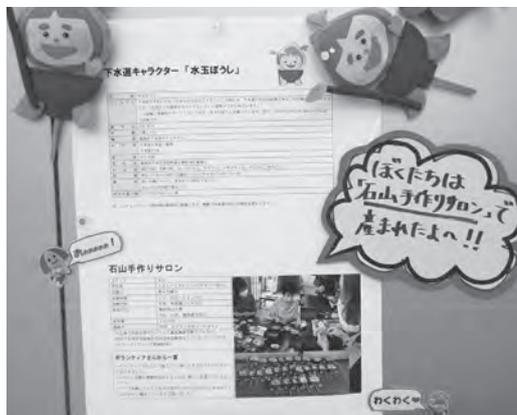
ボランティアバンク登録団体ということもあり、昨年11月に新潟市下水道部が主催するパネル展で展示する新潟市の下水道キャラクター「水玉ぼうし」制作の依頼がありました。昨年から制作に取り組んできました。今年に入って新型コロナウイルスの感染防止のため、しばらく活動自粛期間もありましたが、みんなで楽しみながら作業を進めて、かわいい水玉ぼうしを30個完成させました。



制作風景などが、新潟市のほんぽーと中央図書館で9月3日〜10月6日まで開催された「暮らしをささえる下水道展」の中で紹介されました。

新潟市長からお礼状をいただき、水玉ぼうし制作に関わったみなさんは、感激していました。

これからも、地域の人達の交流の場として楽しく活動していきたいと思っています。



ボランティア活躍中!

〜新潟市生涯学習ボランティアバンクの取組〜

新新潟市生涯学習センター

片桐 礼子

新潟市生涯学習ボランティアバンクが、西部地域下水道事務所から相談を受けたのは昨年11月のこと。下水道キャラクター「水玉ぼうし」のマスケットを30体制作するという大変な内容でしたが、登録ボランティアの「石山手作りサロン」に依頼したところ、快く引き受けてくださいました。ボランティアの皆さんの手により誕生した「水玉ぼうし」たちは、今後新潟市下水道のPRの場で活躍し、未永く市民から愛されることでしょう。

当ボランティアバンクには、知識や経験、技術を活かして地域の役に立ちたいと考える67人の個人と59のグループがボランティアとして登録しており、団体などの依頼に応じた紹介しています。プログラミングなどの学習支援や防災指導、音楽の演奏など分野は多岐に渡り、学校のクラブ活動やPTA行事、地域や福祉施設のイベントなど、様々な場面で活躍しています。利用や登録についてのご相談は新潟市生涯学習センターまでお寄せください。



# 「夕焼けのウォーキング ロードで思ったこと」

見附市北谷公民館

館長 八木 茂樹



古希を迎えた西暦2020年は、年明けから、遠雷が轟くような騒めきとともに押し寄せた厄災にみまわれ、当公民館も諸々の行事が自粛・中止の憂き目にあいました。一方、その現象を追いかけながら、考える時間を得ることもでき、私には心に刻むべき年となりました。

私は、SNSや動画サイト閲覧にも興味があり、昨年末から海外ネットでささやかれていた話題を、仕事始めの職場で冗談めかしてつぶやいたこともあり

ました。昨今のテレビ、新聞などのマスコミは、ネット上で流布される情報にはデマばかりで、信頼に足りない、などの論調で報道しますが、政府や専門機関の記者会見ビデオ、公式サイトで、「一次情報」はいつでも確認できますし、それをじっくり多角的な視点から解説する動画サイトなどもあり、ファクトチェックする手段は豊富にあります。結果として、マスコミの報道の中にも、首をかしげざるを得ない編集がなされたものも多々あることに気づきます。

公民館の活動に加わる機会を得て、地域の歴史や活動記録を見直すことも多くなりました。この国の今は、豊かな自然の恵みに育まれながらも、外界から押し寄せる様々な苦難を乗り越え、奇跡的に穏やかで地に足の着いた文化を築き上げ、一つの国としてまとめてきた、先人の誇るべき遺産なのだということ、次代に伝えていければと考えます。



## 「貴重な経験」

佐渡市立相川中学校

校長 佐藤 元



私は中学校の教員ですが、相川中学校の前は、胎内市にある県少年自然の家に縁あって3年間勤務していました。自然の家では、幼・保・子ども園、小学校、社会教育団体、スポーツ団体、子ども会、地域サロン等の団体の皆様と、レクリエーション(以下レク)やピザ・うどん作り、カヌーを含む自然体験活動等を通して関わることでできました。普段、中学生とだけしか接していなかった私にとって、園児から高齢者ま

で幅広い年齢層の方々と触れ合いはとても貴重な経験となりました。おかげで、様々な角度から中学校教育を見つめ直すよい機会となりました。自然の家のリニューアルオープンに立ち会うこともできました。旧施設(昭和48年創設)の解体・引越し、そして新施設での新たな運営に携わることができました。普段なかなか接することができない様々な職種の方々と一緒に仕事できたことは、これまた貴重な経験となりました。

経験がいつどこで役に立つかわからないものです。もうレクをするのではないと思っていましたが、現場に戻っても、保護者会や新入生オリエンテーションで行い、場の雰囲気作りに役に立ることができました。その他の経験も、地域とともに歩む学校づくりに役立つものも思っています。これからも佐渡の子どもたちのためにがんばりたいと思います。

☆

### ☆にいがた早寝早起き朝ごはん☆ ~県民フォーラム2020~

- 日時: 11月22日(日) 10:00~15:30
- 会場: 新潟ユニゾンプラザ

~関連事業ご案内~

**★生活習慣向上講座★ みんなで考え合いましょう!**

主催: 県立生涯学習推進センター

- 定員 15名      ●当日直接会場へ
- 参加費無料      ●会場: 4F小研修室1
- 第1回 10:15~10:45 / 第2回 13:15~13:45

☆

✍

### ● 掲 示 板 ●

**★オンライン家庭教育講演会★**  
**「そしてパパになる」~父親の家庭教育支援を考える~**  
 共催: 新潟県生涯学習協会, 下越・新潟地区社会教育主事等会  
 ●講師: 京都光華女子大学准教授 松本しのぶさん  
 ●参加費無料      ●接続定員先着50名  
 ●申込み後にID, パスワードを連絡  
 ●会場: 4F小研修室3 (視聴可定員15名)  
 ●FAX申込み: 新潟市中央公民館 025(223)4572

◎フォーラム問合せ: 県教育庁生涯学習推進課  
 TEL: 025(280)5616 E-mail: ngt500060@pref.niigata.lg.jp

☆

「私たちの広報紙「ともそだち」に次のような私の思いを載せました。「子どもたちの笑顔に出会うと幸せを感じます。その時、この子どもたちがそれぞれの持ち味を思う存分伸ばして成長できるステーションを考えます。子どもを育てるではなく子どもを真ん中にして大人もともに育つ」という視点で。

この思いをともに持ち、それぞれ違った所で人生を積み重ねているメンバーが集っているのが市民会議です。どのような事を行うのかを話し合う時、様々な発想が出されます。それが嬉しい。創造という言葉は私には大切にしていきたいと思っています。そして、より多くの方と創造の輪を

1 はじめに

広げて生きたいと思っています。「私の市民会議への思いは、平成6

年から8年の3年間、派遣社会教育主事として勤務した旧加治川村公民館での経験が生きています。(現在は派遣社会教育主事制度はなくなりまして)折角



の機会をいただきましたので、市民会議の取組の紹介と社会教育・公民館について私が思っていることをまとめさせていただきました。



2 胎内市民会議の取組

私が会長を引き受けてから間もなく2年半になります。規約の中の目的には「青少年問題のもつ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、国、県、及び市の施策と呼応して、時代を担う心身ともに健やかな青少年を育成する」とあります。組織は「研修活動部会」と地域活動部会」で構成されています。「私たちは、青少年を広く捉え幼児も踏めて考えています。」

(1) 自立した組織へ

これまで私が課題として感じていた事務局をお願いしている公民館職員任せというこれまでの組織の有り方を変え自立した組織を目指した取組です。この取組によって参加しているメンバーの当事者感を高めたいと考えています。

①事業立案は自分たちで行い、実施までの過程も役割分担をして随時集まり進める。当日もしかりです。実施後の課題と改善策や次年度に生かすべきことをまとめ、共有する。いわゆるPDCAサイクルを大切にしています。

②助成金審査室を設置し、室長を中心に申請した団体への交付の可否を決定し理事会に提案する。



③広報室

を設置し、広報紙を自分たちで作成する。これらの改革を進めることで会議の出席率が高まったことは嬉しい事です。



(2) 創造の輪を広げる

青少年に関する取組を進めている団体は市内にもたくさんあります。その方々とのネットワークづくりも大切にしたいと考えています。今年度はJCの方の参加を得ました。今後も他団体に声掛けをして、子どもたちにとって「胎内市で生まれ育って幸せだな」と実感できる地域作りを進めていきたいと思っています。子どもたちが良い地域と実感できるということは、市民も住んで良かったと思えることに繋がると考えています。

3 社会教育と公民館について

前にもふれましたが、私が関わらせていただいた当時の社会教育と公民館の姿と今を比較して思っていることを述べたいと思います。

(1) 町づくりの中心的役割を担っていた

派遣社会教育主事制度は昭和49年度当時の文部省が国庫補助事業として実施してから全国的に普及しました。新潟県も全市町村に一般派遣とスポーツ派遣を配置しました。全て教員でした。派遣先の社会教育事業に従事しながら、一般派遣は「生涯学習推進計画」スポーツ派遣は「生涯スポーツ振興計画」を策定しました。平成の大合併によってその計画はほとんど残っていないと思います。派遣期間は3年、数年おいて再度派遣を置く市町村が大多数でした。その当時は思い出すと「熱気があったなあ」と懐かしく思い出します。私とっても大きな宝となっています。計画立案に向けた住民意識調査や行政の事業調査を行い計画に反映しました。計画は、実施計画も入れ、見直しをしながら進めてもらえる内容にしました。私とペアーで取り組んだ社会教育主事の職員に多くのことを学ばせていただきました。

(2) 素朴な疑問

私は市民会議の関係で教育委員会に度々出向いています。

①公民館は役割を果たしているか

公民館の基本的取組である地域課題解決としての「人づくり」に取り組みているでしょうか。令和元年6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創成基本方針2019」では「人材を育て活かす」ことが示されています。「様々な学習を通じて『人づくり』を行い、地域住民の自治意識を高める」ことが大切だと私は考えています。



そうした視点に立って見つめてみると、「スタッフが少ない」「適材適所の配置になっていないのではないか」と感じることもあり心もとなない気持ちです。

②社会教育は大切にされているか  
教育基本法から

第3条(生涯学習の理念)

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現が図ら

れなければならない。」

第12条(社会教育)

「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」

2「国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。」

長々と記してしまいました。

しかし、社会教育や公民館は、「限界制度」として「存在危機」にあり、「絶滅危惧制度」や「絶滅危惧施設」になってきているように感じているのは私だけでしょうか。私は、財政が厳しさを増していることは承知しています。だからこそ「人づくり」が大切なのではないでしょうか。

これから生きる人たちに負の遺産を残してはいけません。私の取り越し苦労で済めばよいのですが。





生涯学習人口のすそ野拡大及び主に高齢者の外出機会創出を目的に、各公民館で参加へのハードルを

きっかけの一步事業とは

「きっかけの一步事業」  
初心者スマホ相談室

三条市中央公民館

# 実践記録シリーズ

下げた様々なイベントを実施しています。  
三条市中  
央公民館で  
は、きっか  
けの一步事  
業の一つと  
して、今年  
度から「初  
心者スマホ  
相談室」を  
開催してい  
ます。

「初心者スマホ相談室」とは



講師は生涯学習ボランティア「リーダー養成講座」を受講し、その後市内の公民館でパソコン教室やスマホカフェで活躍している田村栄一さんです。

まずはスマートフォンとは何か、というところから始まり、LINEの使い方などを学びます。

受講の目的は「スマホを買ったけど使いこなせない」「孫とLINEがしたい」といった目的で申込み方が多いです。

ご自分のスマートフォンを持参していただき、アシスタントの講師による一人一人に合わせて指導を行っています。

令和2年8月27日の教室では、インターンシップに来ていた4人の大学生がアシスタント講師として参加しました。

学生たちからは「実際の公民館事業に携わることができてよかった」「公民館に来る市民と直接関わることがで



きて楽しかった」との感想が聞かれました。

世代間交流も図られ、受講生も楽しく受講することができました。

今後は「スマホを使ってまちあるき」を予定しています。まちあるきをしながら、楽しくスマートフォンのカメラの使い方を学びます。

きっかけの一步事業は、このようなICTを活用したもののほか、ピアノの生演奏などで行う「えんがわでラジオ体操」や、中央公民館の大ホールのステージで歌うことができる「大ホールでカラオケを歌ってみませんか」など、公民館利用者のすそ野を広げるためにいろいろな事業を展開しています。

## おわりに

外出の機会を創出し、人と人との交流を促す「きっかけの一步事業」の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症は非常に影響があります。

その中でも、感染症拡大防止策を取りながら、多くの方に参加していただける講座を実施していきたいと思えます。



絵を描くことの苦手な私でしたが、友達に誘われて「よし、やってみようー!」と一大決心して入会しました。この教室は月2回絵手紙

今、目の前にある「オーヤのつづぶ」「つやつや」「自然の造形」に見とれています。絵手紙教室は、いつの間にか私の感性をこんな風に育ててくれました。

絵手紙教室  
楽楽天 (胎内市)



紙を描き、年1回作品を展示する活動団体です。2001年7月に始まり今年で20年目です。会場は公会堂から公民館となり、メンバーも諸事情で増減して現在6名で活動しています。仕上げた絵手紙を見せ合い、先生の指導を受けながら楽しく学び合っています。一人一人の個性を大切に、のびのびと切磋琢磨させてもらえる居心地の良い教室で、いつの間にか絵手紙にはまってしまった自分に驚いています。絵手紙は「ヘタでいい。ヘタがいい」と言われても、やはり目の前にある「オーヤ」とらめっこしてしまいます。

社交ダンスサークル  
楽しく踊って健康そして上品に!  
(田上町)

社交ダンスサークル「ファイナル」は、毎週月曜日、昨年オープンした田上町交流会館で「健康仲間つくり」として「スポーツとして」「エレガントなふれあい」を目標に楽しく活動しています。「社交ダンス」と聞くと、華やかな衣装を身にまとい競い合うというイメージがあり



がらの会話を楽しんでいます。パートナーは定期的に替わるので、誰でもコミュニケーションがとれ、パートナーが変わるときには、丁寧に「ありがとうございました」とお辞儀をし、新しいパートナーには「よろしくお願いします」と親しき中にも、礼儀正しく、上品な振る舞いを実践しております。社交ダンスは、難しい?と思ってしまうですが、参加者一人一人の笑顔が象徴するすように、誰でも気軽に始められるもので楽しいものです。新規の参加者大募集中です。皆様の参加をお待ちしております。(ファイナル代表 田巻俊光記)

ますが、参加者皆さん、普段着で和気あいあいと楽しんでます。メンバーは、男女関係なく仲よくダンスをします。



南魚沼市中央公民館  
主事 牛木 円香さん

牛木円香さんは、社会教育課経験4年目、昨年までは隣の文化振興班で市の文化財保護、越後上布体験講座などを担当し社会教育課職員としての経験は十分。まわりからのさらなる自己啓発の期待もあり、今年度生涯学習班に席を移し、主に公民館成人講座、高齢者学級、女性学級の運営を受け持ち、小柄な容姿にも関わらずバイタリティーあふれる熱意をもって、このコロナ禍でたいへんな公民館を支えるべく日夜頑張っています。SNS等の情報ツールにも明るく、コロナ禍で停滞気味な公民館講座を活性化すべく「オンライン講座」の実施に向けて、時代遅れの係長を尻目に、業者との打ち合わせ、実施に向けた準備と力を奮ってもらっています。そのまじめに取り組む姿勢に講座の受講生、関係する業者、団体からの信頼も厚く、頼もしい限りです。すこし頑張りすぎかなと思うこともあります。時には自分の時間もつくってリフレッシュしながら、長く公民館に携わってほしいと思います。これから公民館職員の交流の機会も増えていくものと思います。南魚沼市中央公民館には、2人の牛木(うしき)がいますが、ぜひ若い円香(まどか)さんを覚えてくださいね。

(南魚沼市中央公民館公民館主幹 牛木 治 記)

素顔拝見



津南町公民館 生涯学習班  
主事 吉樂 雄大さん

昨年4月に新卒で津南町公民館に配属になった機体(ガタイ)が大型(体重85キロ超?)の新人、いや、期待の大型新人吉樂雄大(きらたかひろ)君を紹介します。

吉樂君の担当は、昨年度は高齢者学級と図書館業務のお手伝いでしたが、今年の4月からは、高齢者学級にプラスして、成人式や成人教育、青少年育成町民会議に文化芸術活動と、ほとんどすべての生涯学習分野を担当することとなり、八面六臂の活躍が期待され、本人も張り切っていました。しかし、その矢先新型コロナウイルスが襲い掛かりました。この影響で、5月3日に予定していた成人式を皮切りに、計画されていたほとんどすべてのイベントや行事が中止や延期となりました。人が集まらないと仕事にならないのが生涯学習の分野ですが、新しい生活様式が定着されつつある中で、今後は三密を避けながらできる、新しい社会教育の在り方を探っていただきたいと思います。

ちなみに現在彼は一念発起でダイエット中、ウォーキング等を頑張っていて7キロ痩せたそうですよ。(津南町公民館 高橋 隆明 記)



### 「夢が叶う日まで」

榎本 良子(新発田市)



現役を退いて4度目の秋が来ました。秋の味覚の1つ葡萄。先日訪れた葡萄園は公民館時代、高齢者大学の生徒さん達と研修旅行で行った場所。当時の記憶が懐かしく蘇りました。歴史、社会情勢、音楽、健康、レクリエーション等、月1回様々なテーマの学習に好奇心と向上心を持って懸命に取り組む生徒さん達に接し担当者として喜びとやりがいを感じたものでした。

さて、退職後は愛犬を連れて夫とキャンピングカーで日本一周の旅をしたいと密かに夢

を抱いていた自分が、現実は一入っ子の宿命で90歳過ぎた両親との同居を余儀なくされました。幸い母の歩行が若干困難でどこへ行くにも介助が必要ですが、耳が遠い事と歳相応のまだら呆けはあってもこの歳まで夫婦共に大病もせず暮らしているのは有難い事です。父は囲碁、母は料理教室と公民館事業のお世話になった事も長生きに繋がっていると感謝しています。まさに生涯学習の成果でしょう。人生百年時代、呆けずに健康寿命を全うするためにも、今まで以上に生涯学習の必要性を感じます。事業担当者の皆さまに心からエールを送りたいと思います。

両親共に天寿を全うして、晴れて自由な時間を持てる日がくるまで、そして夢を叶える日を迎えられるよう自分自身の健康管理と体力維持に日々努力をしていきたいと思っております。

## 恵贈資料紹介

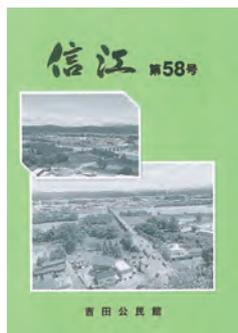
「信江第58号」十日町市吉田公民館発行

十日町市吉田公民館から「信江第58号」を送付いただきました。「信江」への寄稿数が減少する中で、地域の皆様とつながるためにも原稿をよせていただける新しいスタイルで発刊されたそうです。

現在の心境、これからの夢や希望などについてまとめた作文、俳句や川柳も含め素晴らしい作品が寄稿されていました。

(問い合わせ)

十日町市吉田公民館



### 編集後記

ようやく凌ぎやすい季節になりました。いまだに収まる気配のない新型コロナウイルス禍において「Zoom」の活用やリモートによる講座や教室等を工夫した公民館活動が行われています。10月に入り、全全連からも「公民館における新型コロナウイルスの感染拡大予防のガイドライン」の改訂版が示されました。今後さらなる緩和が進められることを願っています。

(広瀬)

## 地すべり被害を未然に防止するため取り組んでいます

協議会会員12市町では国土保全を目的に、地すべり地域の保全と自然環境の保護及び地域振興に取り組んでいます。

そのため、地すべり防止対策事業や関連事業による農業並びに生活基盤の改善を積極的に推進しています。

新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会  
会長(妙高市長) 入村 明 (会員12市町)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟県市長会内)  
TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135